

## 第2回苫小牧市中小企業振興審議会要旨

1 日 時 平成27年8月19日(水) 13:30～14:30

2 場 所 本庁北庁舎3階会議室

3 出 席

(1) 苫小牧市中小企業振興審議会委員

青山委員、秋山委員、岩佐委員、上木委員、川島委員、坂本委員、竹谷委員、  
中條委員、西川委員、平井委員、丸山委員、吉川委員、渡辺委員

(2) 事務局(市)

前田産業経済部次長

商業観光課：河本課長、由利主査、銅主査、安藤主事

工業労政課：桜田課長、田嶋主査、佐藤主事、廣川主事

4 概要

(1) 開会

(2) 議事

① 部会及び勉強会の報告

▽委員(創業促進部会長)

創業促進に伴う課題は大きく5項目に分けられる。1つ目は創業の実態の把握。

2つ目は創業希望者の掘り起こしについて。3つ目は創業希望者の相談体制。4つ目は創業希望者の支援制度の周知方法。5つ目はその他として、高齢者の創業支援について、また他に各機関が連携してプラットフォームを作ってはどうかという意見が挙げられた。

▽委員(人材育成・事業承継部会長)

人材育成で全国的な課題は、労働人口の減少。今後、女性や高齢者の活用が重要になる。苫小牧地域の課題としては、専門性の高い人材の誘致、若者の地元定着化が挙げられた。また、相談窓口の設置、学生の長期インターンシップの実施、若者に社会の構図を教えること、若者対象のアンケートを実施するなどをしてはどうかという意見が挙げられた。事業継承を促す取り組みについては、跡継ぎがない経営者が、譲っても良い企業、もしくはこの会社を継ぎたいという従業員を募って、プレゼンを行うコンペ方式で事業継承をしていくという話が出た。

▽委員(販路拡大・需要開拓部会長)

販路拡大を検討するにあたり業種は食品を扱う製造もしくは販売の業種に絞った。課題を分類すると、事業所内部の課題としてブランド力がない、販売先がマッチしていない、企画できる人材が不足している、経営者が多忙のため取り組めないなどが挙げられた。環境の課題では、相談窓口の敷居が高い、販路拡大するきっかけが必要、気軽に販売できる場所がないなど。その他の課題として、販路拡大を望んでいる人を発掘しなくてはならないという意見があった。

② 各部からの意見

【創業促進部会への質疑】

▽会長

創業50件、廃業80件についてどのような業種の傾向があるか。

▽委員

何年か前は、創業はサービス業、美容室が増えていると聞いた。廃業は業種の偏りはない感じがする。

▽委員

廃業は1人親方で自営業者が、高齢化に伴い、無借金のため辞めようという方が多いのではないか。型枠や自動車板金の方々が辞めていて、その業界が人手不足になっている。

▽委員

創業の掘り起こしについて、事業継続のフォローを見据えた創業希望者の掘り起こしが必要とあるが、創業者か第二創業か。

▽委員

ただ創業すればいいということではなく継続してやってほしいという思いがあり、例えば販路拡大などアフターフォローも必要になってくるのではと考えている。

**【人材育成・事業承継部会への質疑】**

▽委員

全国的な課題で、労働の場以外の環境整備が必要とあるが、こういったものか。

▽委員

単に労働時間だけでなく福利厚生や自由に余暇が取れる雰囲気のような、会社のサービスの部分を充実させていかないと人材が集まってこないということ。

▽委員

創業が50件、廃業が80件、マイナス30件ということだが、その廃業を事業承継に繋げられれば、結局創業を増やすことと一緒にするのはないか。創業部会は創業だけでなく企業の継続も重要視しているので、各部会等で連携し支援ができればと思う。

▽委員

事業承継のコンペ方式について補足説明。同業種だけでなく異業種も含め、コンペ方式で引き継げると地域の雇用を守ることができるのではという部分もある。

▽委員

例えば廃業したとして、従業員の雇用を守るためには手を挙げてくれた人と面談等をして引き継ぐこともコンペの1つの方法。

**【販路拡大・需要開拓部会への質疑】**

▽会長

苫小牧のハスカップを商品化するなど、具体的な食品の提案はあるか。

▽委員

具体的にはない。ハスカップやホッキも挙がっていて、それ以外の物がいいという意見もあった。市民の認知の部分で、販売場所がわからない等の課題もある。

## 【全体について】

### ▽委員

人材育成の中の、新規高卒者向けに長期インターンシップとはどのようなものか。

### ▽委員

高卒者とあるが大学生もしくは専門学生というイメージ。学費を払って進学する学校の中で、インターンシップ制度があると、企業は人間関係を作りながら、会社の技術を教えられ、結果的に就職に繋がるのではないか。またインターンシップは企業がお金を払わないで教育が出来るので、1年ないし2年の先行投資ができて、即戦力で使うことができるので中小企業にとって良いのではないか。また、学生も地元の企業と係ることで地元に着定するのではないか。

### ▽委員

非常に興味深いと思う。

### ▽委員

美容室が増えている。人を雇うまでにならない店が多く、中高年になると辞めてしまうので人材育成、事業承継はできない。他の業種も人口のわりに同業者が多く、すぐに潰れてしまうのが残念。

### ▽委員

飲食など一般の方が利用するところは市場が大きくなる限り、絶対伸びない。昔からやっている店を潰すだけ。市場を大きくするには人口を増やすほかない。

### ▽委員

新陳代謝は仕方がないこと。

### ▽委員

地域に無い店を増やしていけば、地域の人も助かり人材育成に繋がるのでは。

### ▽委員

販路拡大でブランド力がないという話があったが、とまチョップの絵をつけてもブランド力はない。苫小牧の農水産品等を合わせて、ブランド力、苫小牧力ということで何か確立できないか。

### ▽委員

人材育成の部分で高齢者の介護のため、能力のある人も働けないということがあつた。介護施設の利用で、働くことが出来るようになる環境があればと思う。

### ▽委員

全国商連調査があり、10年以上前は全国で約160万店個店があり、今は約120万店ほどに減っている。唯一、わずかだが飲食店とサービス業が増えており、物販で廃業しているところに入ってきている。中小企業は廃業に追い込まれているという状況。

創業支援者の相談体制について。融資関係の相談があるとき、金融機関で融資だけでなく、創業を含めた形のサポート体制があれば、相談しやすくなるかもしれないと感じた。

#### ▽委員

各部会から相談場所に関しては、プラットフォーム的なもの、情報を一元化する組織、ワンストップ相談窓口の必要性が挙げられている。様々なニーズや相談に対応できるものがあれば良いと感じる。

#### ③ 今後の部会及び勉強会について

##### ▽会長

各課題について、短期・中期・長期で区分し、その解決に向けた提言をいただきたい。各部会で支援方法や施策について平成29年度予算に向けて、何か計画を盛り込むことができると考えている。

#### (3) その他

##### ▽事務局

10月開催予定の創業セミナーについてお知らせ。

これまで5月のセミナーは22名、7月は4回1セットのセミナーで、それぞれ10名程度の参加があり、30名に受講修了証を交付済み。補助金交付決定は4名で、業種はサービス業が1人、小売が2人、美容師が1人。店舗所在地は市内に点在している。

##### ▽会長

次回審議会は10月21日（水）13時30分からを予定している。

#### (4) 閉会

#### 5 その他

審議会終了後、創業促進部会、人材育成・事業承継部会、販路拡大部会がそれぞれ開催され、15時30分頃まで行われた。